

重点となる具体の学校経営目標(7)【安心・安全】

交通安全及び防災に関する啓発を行うとともに、万が一の災害発生時に迅速で適切な対応がとれるよう交通機関との連携を深める。また、安全で安心な学校であるよう施設、設備の美化、点検補修及び更新を進める。

課・室・学科	重点目標	具体的計画	達成基準	中間	評価	最終	評価	外部評価
保健厚生課	・校内美化の徹底 ・防災意識の高揚と危機管理の徹底	・美化委員会の活動でクラスチェックを月1回実施し、集約したものを報告し美化意識向上に努める。 ・校内全体の整備を図り、清掃用具汚破損の更新を行う。 ・抜き打ちの防災訓練の実施をおこなう。 ・AEDシミュレーション研修を開催する。	・美化委員会チェックで、26クラス中清掃不備クラスが毎回5クラス以内(R02 57/ス)になる。 ・教員による清掃場所の点検報告を毎月行い、報告結果をまとめる。 ・全生徒、教職員の防災訓練避難完了8分以内(R02 8分)をめざす(体育館・運動場)。 ・教職員のAED研修者が100%(R02 未実施)になる。	・清掃監督者と美化委員による毎月の清掃場所チェックと、コメントを集約した物を配布し、いっそうの美化意識を定着させている。 ・防災訓練を9月17日にコロナ対策を十分に行いながら実施する予定。避難時間については、訓練マニュアルをコロナ対策により変更したため、データを残し次年度への参考としたい。 ・AED研修はオンラインにより実施。十分な成果が得られている。	A	・清掃監督者と美化委員による清掃状況チェックや、危険箇所のチェックをこまめに行い、結果を共有することで清掃美化に対する啓蒙活動を推進することができた。 ・防災訓練では、学年毎に避難場所や対等を変えて避難訓練を実施したが、8分以内の避難完了が達成できた。	A	A

重点となる具体の学校経営目標(8)【今後の方向】

志願者を増やすために適切な方策を講じるとともに、学科の在り方や商業・家庭両学科の有機的な結びつきに関する研究をより進める。また、来年度の創立120周年に向けて具体の準備に入る。

課・室・学科	重点目標	具体的計画	達成基準	中間	評価	最終	評価	外部評価
総務課	中学校や地域との連携を強化する。	・オープンスクールや卒業制作展、学校説明会などで、学校の様子や学科の特色、卒業後の進路が中学生や地域の方にわかりやすく伝わるように工夫する。 ・塾訪問を行い、情報提供をする。	・オープンスクールの参加人数が7月、9月と11月を合わせて2,000人(R01実績1,846人)を超える。 ・卒業制作展の参加者数が1,000名(R01実績1,067人)を超える。 ・担当教員の中学校訪問と広報委員による中学校訪問を、それぞれ年2回以上行う。 ・担当教員の塾訪問を年2回以上行う。	・7月のオープンスクールの参加者は中学生862名(商業学科514,家庭学科348)保護者162名 計1,024名。 ・9/4に予定していた部活動体験OSはコロナ禍で緊急事態宣言が出されたため中止とした。教員の中学校訪問はスクールガイドの配布を兼ねて6月に1回目を実施した。	B	・11月のオープンスクール参加者は中学生245名、保護者93名、計338名。 ・卒業制作展は公開範囲を本校3年生保護者と中学生及びその保護者に限ったため290名の参加。また、新たな試みとしてYouTubeで配信した。視聴数は300名超と効果的な情報提供を行うことができた。	B	B
商業科	学科の在り方や商業・家庭両学科の有機的な結びつきに関する研究を進める。	・商業科会議や家庭科との合同会議を行い、岡山南高校でできない取り組みを考える。 ・専門科の教員で中学校訪問や地区別説明会を積極的に行う。	・商業科教員全員で、学科について共通理解をし、学校訪問などを行うことができる。 ・ブログやYouTubeなどのソーシャルメディアを活用して情報発信を積極的に行うことができる。	・課題研究において、家庭学科と連携した授業実践を行い、岡山南高校でなければならない取り組みを前進することができた。 ・中学校訪問やブログなどを利用して今後も積極的に情報を発信していく。	B	・ブログやYouTubeなどを活用して、小学科の特色を校外に向けて、継続してPRしていく必要がある。 ・今年度は課題研究や卒業制作展など、家庭学科との連携した取り組みを実践できた。	B	B
家庭科	魅力ある学科づくりに向けての取り組みを行う。	・家庭科教員で中学校訪問や出前授業をし、学科のPRをするともに、中学生の実情を知ることにも努める。 ・服飾デザイン科においてアパレルCADを導入し、授業における活用方法を検討する。 ・ブログ・動画配信等を通じ、情報発信に努める。 ・中学生の視点に立ち、現在編成している新教育課程の内容について見直し、再提案する。	・家庭科教員全員で中学校訪問をすることができる。 ・アパレルCADを導入し、教員研修を行い、生徒に使用させることができる。 ・ブログの発信を年間70件以上(R02 74件)することができる。ファッションショーのダイジェスト動画を配信することができる。 ・今後の学科のあり方を踏まえた新教育課程を再提案することができる。	・中学校訪問には協力して取り組むことが出来た。 ・アパレルCADについては、専門学校への見学も行き、情報収集に努め、機種選定などの調整を行うことができた。 ・家庭学科からのブログの発信は4月から8月まで38件行うことができ、昨年度を上回る状況である。今後は発信内容を工夫し、より魅力的な記事にしていきたい。 ・新教育課程については科会議をもつことができたが、再提案には至っておらず、早急に検討が必要である。	B	・家庭学科からのブログの発信は2月まで79件(昨年度66件)となり、YouTubeでの動画配信と合わせて積極的に行うことができた。 ・新教育課程について、入学してくる生徒の実情に合わせた再検討案を提示することができた。アパレルCADの授業への導入や、保育分野の実習の充実に向けて、さらに具体的な内容の検討が必要である。	B	B